

令和5年度岐阜県体力向上プロジェクト実践報告書

那加第二小学校 / 森田 光

1 実践事例 3年生24名 男子14名 女子10名

(1) クラス観

- ・体を動かすことが好きな児童が多い。
- ・仲間と共に運動することを楽しみにしている児童が多い。
- ・やることが明確でないと、思い切り体を動かすことができない。

(2) 取り扱った運動遊び例

- ・爆弾ゲーム
- ・修行鬼
- ・体じゃんけん
- ・スポーツ鬼
- ・動物鬼
- ・あっちとんでピョン（修行付き）

(3) 学習の流れ【実践例】（領域：器械運動 種目：跳び箱運動）

【導入1】
ACPを活用した予備運動

【導入2】
本時の課題を確認する

【展開】
個人課題別、グループ練習

【まとめ】
本時の振り返り

【実践の様子】

場面：導入1

体育館に跳び箱が用意されていない場合は、運動量が増加するような爆弾ゲームや鬼遊びを中心に活動を行った。前のクラスが準備した場合は、体じゃんけん・あっち跳んでピョンを行った。負けた児童は修行として前転やうさぎ跳び等、主運動につながる運動を行うようにした。

【実践の様子写真等①】



【実践の様子写真等②】



【実践の様子写真等③】



令和5年度岐阜県体力向上プロジェクト実践報告書

那加第二小学校 / 森田 光

2 児童生徒の感想等

- ・いろいろな遊びが全部楽しかったです。
- ・ACPをしてから、たくさんの遊びを知る事が出来たし、たくさんの遊びが出来て良かったです。
- ・いつもの体育よりもたくさん動けたし楽しく運動できたので良かったです。
- ・一つのACPの遊びだけじゃ無く、いくつかの遊びがあるから楽しくてけっこう好きです。

3 成果と課題

【成果】

- ・昨年度よりいろいろな運動を春から継続的に行うことができたため、体育係の子に事前に伝えると自分たちで進めることができた。
- ・運動が苦手な子が「ずっとやっていたい！」と話すほど、誰もが楽しみながら運動に取り組むことができていた。

【課題】

- ・同じ活動が続けると飽きてしまう子どもや、好みによって運動への取り組み方に差がついてしまう姿が見られた。一つの活動時間を短く、多くの運動を取り入れていく方がよいと感じた。

4 その他

【他の先生の感想】

- ・楽しく授業がスタート出来てよい。
- ・子どもたちは楽しそうだが、怪我が心配で体操もしてしまう。

【市の研修会】

- ・市の研修会でACPの紹介をモデル授業を通して伝えた。多くの先生方に取り入れていただいた。